

TVスタンド
取扱い及び組立説明書

PDR-SP1050BK

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧いただき、正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。

組み立て前にお読みください

- 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
- 組み立ての際は、付属工具をお使いください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷付けないよう、十分ご注意ください。
- 移動の際、天板を持って持ち上げないでください。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

ガラス製品に対してのご注意

ガラスの傷や欠けによって、ガラスが破損しやすくなったり、突然破損することがあります。また、破損の際に、ガラスの破片が飛び散りケガの原因となりますので、お取扱いに十分ご注意ください、以下に従ってご使用ください。

- ガラスに傷や欠けが確認できた時は、ご使用を中止してください。
- ガラスに物をぶつけたり、鋭利な物で突いたり、傷つけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ガラス扉の場合、ガラス扉が開いている状態で移動したり、ガラス扉を持って移動しないでください。
- 万が一、ガラスが破損した場合は、ガラスの破片を素手で触らないでください。

設置物についてのご注意

AV機器・ゲーム機などの設置・使用に関しては、それらに付属する取扱い説明書に従ってください。

- 設置・使用方法に誤りがあると、故障・破損などの原因となります。

スピーカシステムについてのご注意

スピーカシステムの取扱い・配線に関しては、同梱の取扱説明書に従ってください。

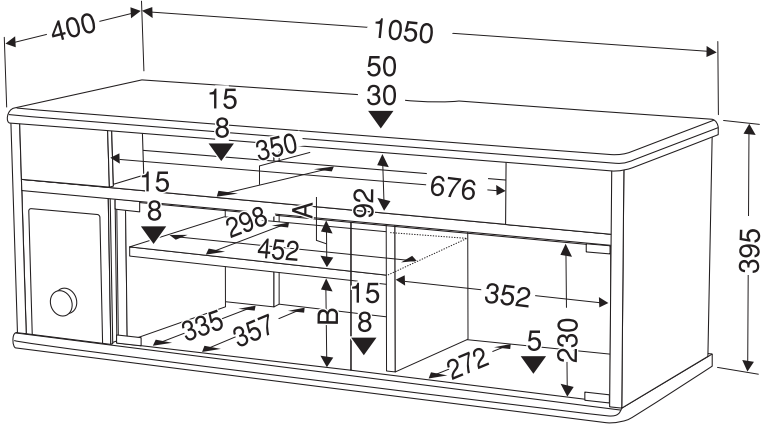
製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関する
お問い合わせは

●エレコム総合インフォメーションセンター
TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間
9:00～19:00

年中無休



※可変棚の取り付け高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	105	75	45
B	108	138	168

耐荷重
(▼Kg)

総耐荷重:80kg

■総耐荷重

製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにしてください

■平均分布耐荷重 (図面中の上の数値)

天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にしてください

■中心付近耐荷重 (図面の下の数値)

載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

マーク一覧

注

このマークのある
組み立ては、特に
気を付けて行って
ください。



付属工具を
使ったの
組み立てが
あります。



ドライバーを
使ったの
組み立てが
あります。



2人以上で
作業を行っ
て下さい。



組み立てに
左右共通の
パーツを
使用します。

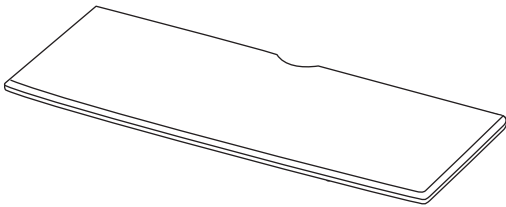


右用と左用とで
部材の形状が異
なります。
組み立て間違い
のないようご注
意下さい。

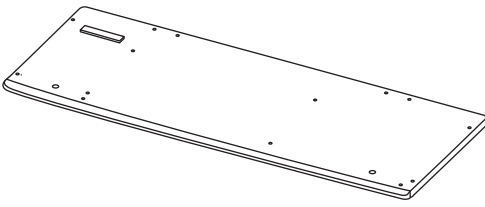
部品一覧

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

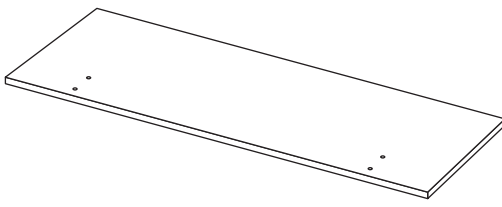
① 天板 1枚



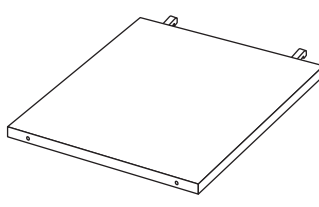
② 底板 1枚



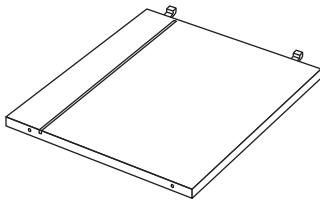
③ 固定棚板 1枚



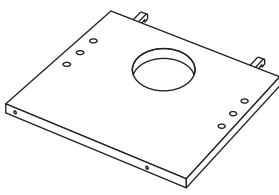
④ 側板(左) 1枚



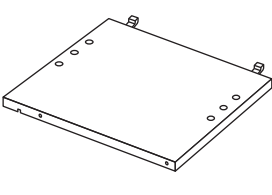
⑤ 側板(右) 1枚



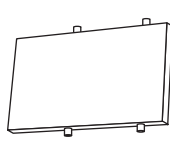
⑥ 内側板(左) 1枚



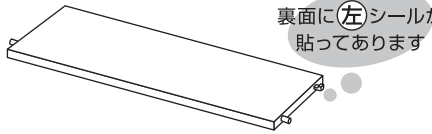
⑦ 内側板(右) 1枚



⑧ 仕切り板 2枚

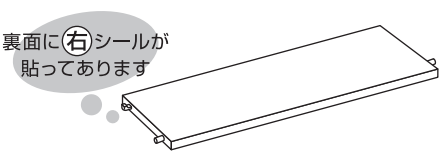


⑨ 補強板(左) 1枚



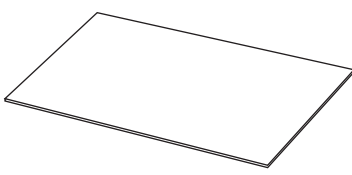
裏面に(左)シールが
貼ってあります

⑩ 補強板(右) 1枚

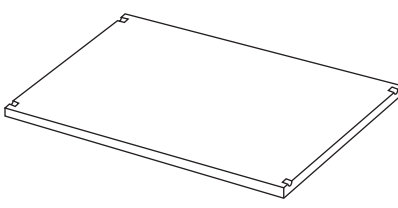


裏面に(右)シールが
貼ってあります

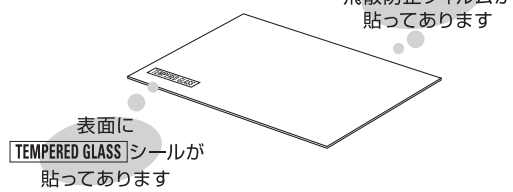
⑪ 背板 1枚



⑫ 可動棚板 1枚



⑬ 扉ガラス 2枚



裏面に
飛散防止フィルムが
貼ってあります

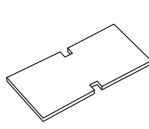
表面に
「TEMPERED GLASS」シールが
貼ってあります

⑭ マグネットキャッチ 1個

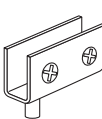


天板に取り付け
てあります

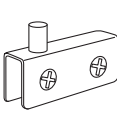
⑮ クッション 2個



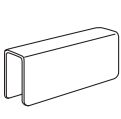
⑯ ヒンジ(A) 2個



⑰ ヒンジ(B) 2個



⑱ マグネット受け 2個



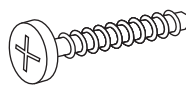
⑲ 隠しキャスター 5個



底板に取り付け
てあります

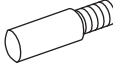
①

木ネジ
11本
(内1本は)
予備です)



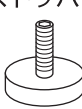
②

棚受けダボ
5本
(内1本は)
予備です)



③

ストッパー
2個



④

穴隠しシール
4枚
(内2枚は)
予備です)



付属
工具
1本

六角レンチ (+ドライバー付)



組立説明

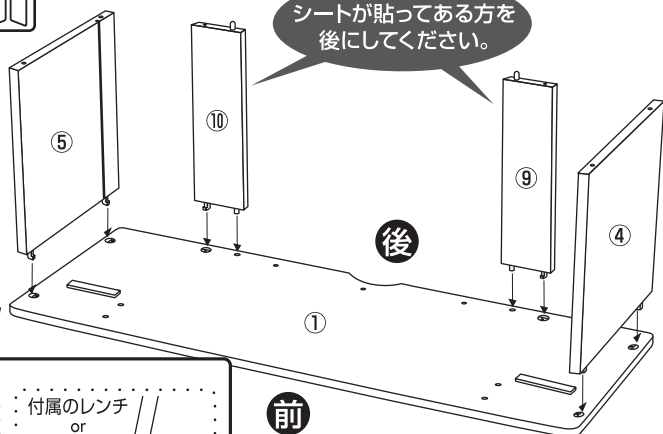
※本製品はノックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行ってください。
※床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立ててください。

使用する工具&ご用意いただくもの

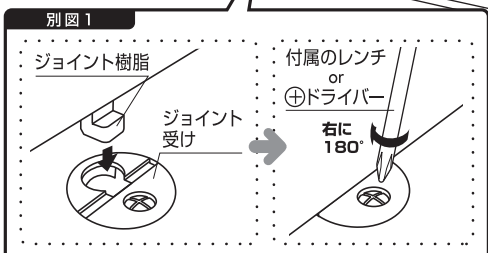


1

- 天板①を裏返しに置き、図のように側板④、⑤、補強板⑨、⑩のジョイントをジョイント受けに差し込みます。
- ⊕ドライバーで、各2ヶ所のジョイント受けの⊕ネジを、右に180° 締め付けます。(別図1参照)

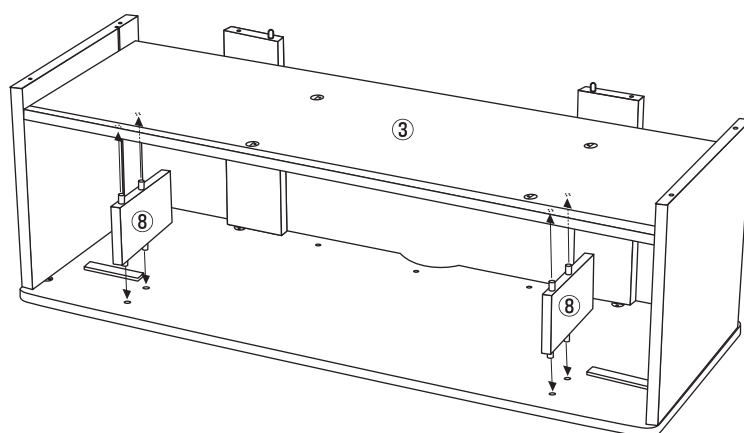


前



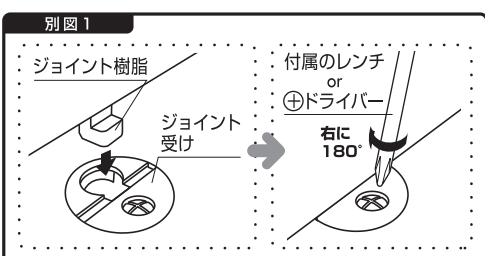
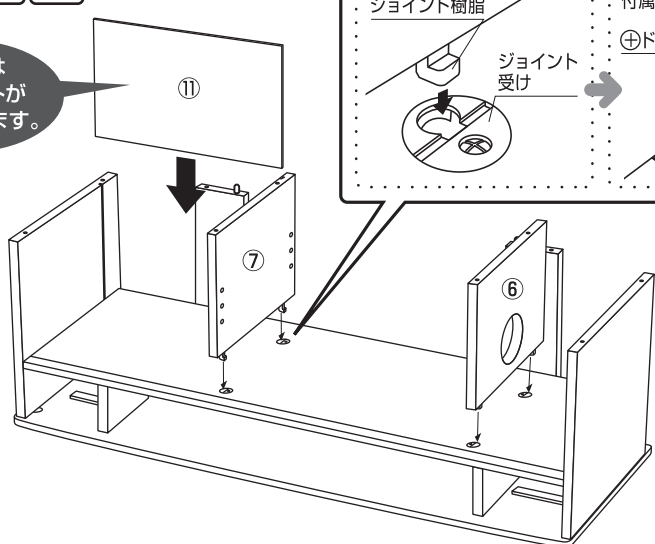
2

- 方向に注意して、仕切り板⑧のダボを図のように、天板裏にある穴に差し込みます。
- 仕切り板⑧のダボに、固定棚板③を取り付けます。



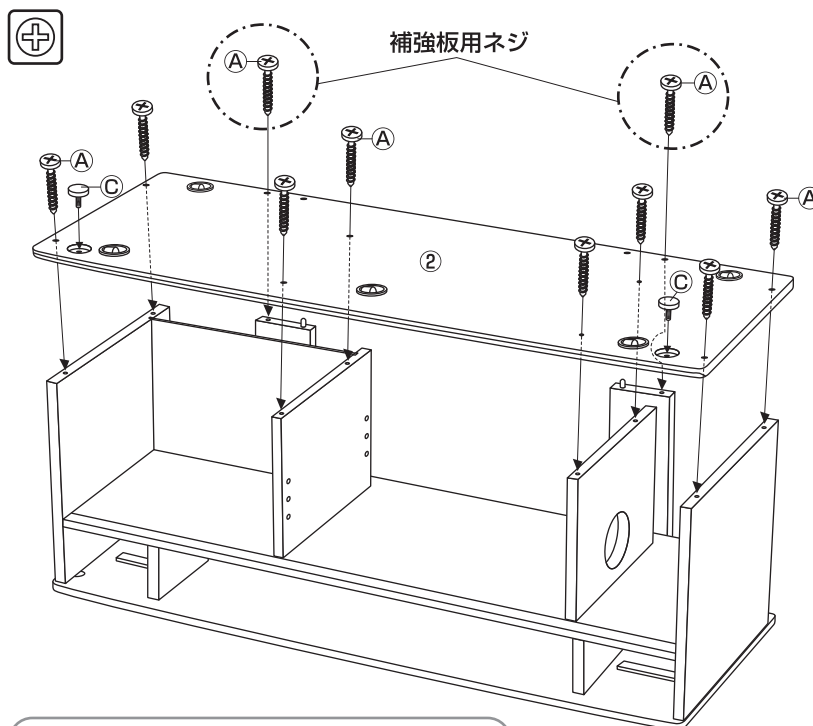
3

- 内側板⑥、⑦のジョイントをジョイント受けに差し込みます。
- ⊕ドライバーで、各2ヶ所のジョイント受けの⊕ネジを、右に180° 締め付けます。(別図1参照)
- 表裏に注意して、背板⑪を、図のように溝に差し込みます。



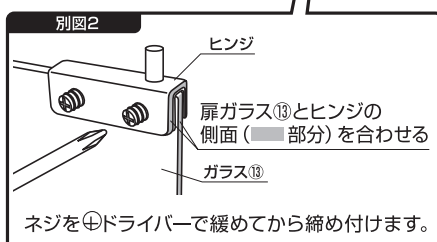
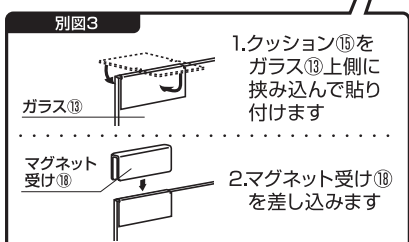
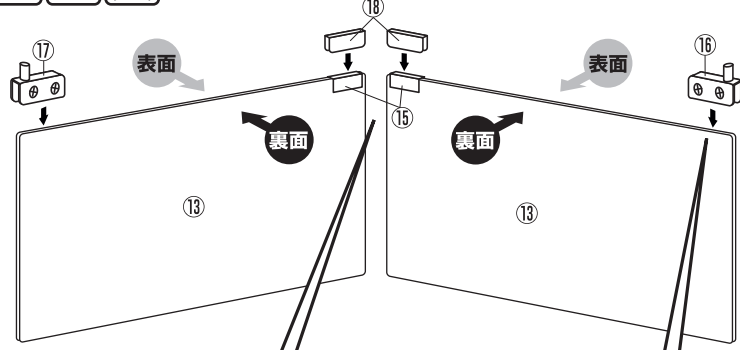
4

- 注** 木ネジを過剰に強い力で締めると、空回りし固定できなくなります。
- 図のように組み立てた本体の上に、底板②を置きます。
 - ⊕ドライバーを使用して、側板、内側板、そして最後に補強板の順に木ネジAで固定します。
 - 底板手前のキャスター付近のネジ穴にストッパーCをねじ込みます。
- 注** 補強板は最後に固定してください。



5

- 注** 表面に「TEMPERED GLASS」シールが貼ってあります。
- ガラス⑬の表裏に注意して、上側にヒンジ(A)⑬、ヒンジ(B)⑭を⊕ドライバーで締め付けます。(別図2参照)
- 注** ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。
- 次に、クッション⑮を挟み込み、マグネット受け⑯を取り付けます。(別図3参照)



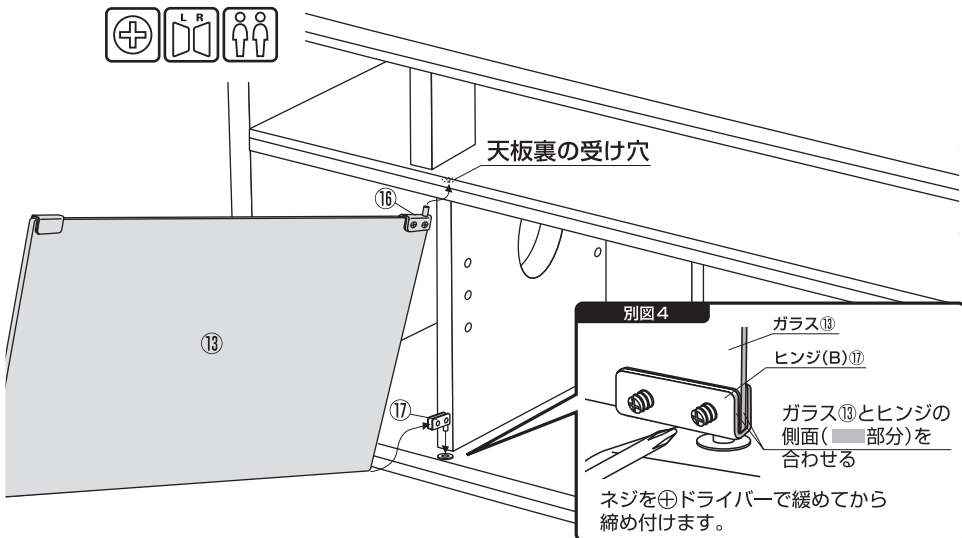
6

注 以下の順番通りに組み立ててください。
(もしも順番が異なると無理な取り付けとなり、ガラスが割れケガの原因となる恐れがあります。)

注 ガラス取り付け時には、床にダンボール等を必ず敷いて組み立ててください。
ガラスが床に落ちた場合、ガラスが割れる恐れがあります。

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- I. 本体を2人で立て起こします。
- II. ヒンジ(B)⑰を底板の軸受けの穴に差し込みます。
- III. 図のように、ガラスの表裏に注意して、上側のヒンジ(A)⑯を天板裏の受け穴に斜めにして差し込み、ガラス扉の下側をヒンジ(B)⑰の溝に差し込み、⊕ドライバーで締め付けます。(別図4参照)
- IV. 右側のガラス扉は、ヒンジ(A)⑯を底板の軸受けの穴に差し込み、同様に取り付けます。



ガラス扉の調節方法

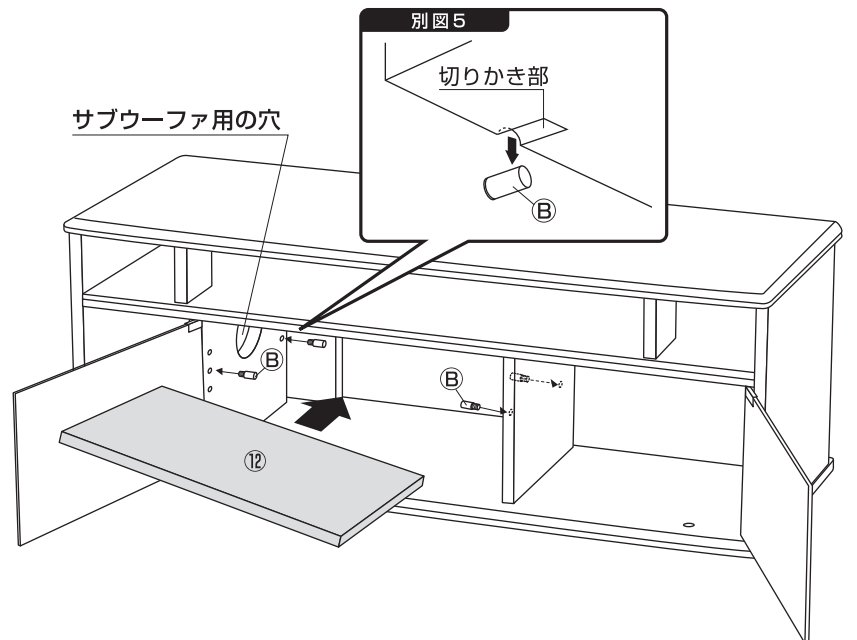
ガラス扉のズレが発生した場合、上下ヒンジのいずれかのネジを⊕ドライバーで一ヶ所ずつ緩め、ガラス扉をズレがないよう調節し、再度⊕ドライバーで締め付けます。

注 上下のヒンジのネジを同時に緩めると、ガラスが床に落ちガラスの割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

7

- I. お好みの高さに、棚受けダボ⑧を取り付け、可動棚板⑫を正面から斜めにして差し込み、切りかき部をはめ込みます。(別図5参照)

注 サブウーファ用の穴を完全にふさがないでください。



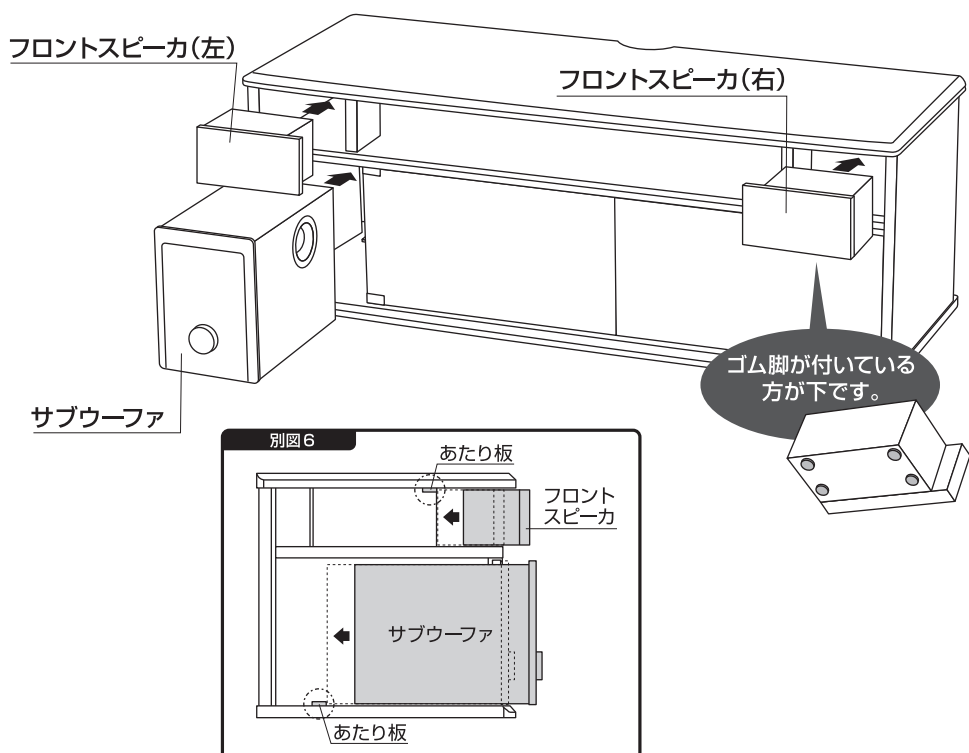
スピーカシステムに同梱している取扱説明書をお読みください。

8

注 電源コード、ケーブルはあらかじめ背面に通してください。

注 ケーブルの挟み込みに注意してください。

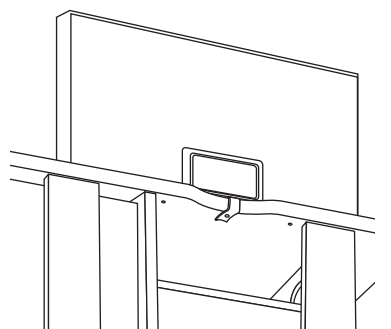
- I. 図のように、サブウーファをあたり板で止まるまで、静かにスライドさせて設置してください。(別図6参照)
- II. フロントスピーカ(右)(左)に付いている、両面テープを剥がしてください。
- III. フロントスピーカ(右)(左)の上下に注意して、あたり板で止まるまで、静かにスライドさせて、設置してください。(別図6参照)
- IV. 取扱説明書に従って、サブウーファとフロントスピーカ、サブウーファとテレビを接続してください。



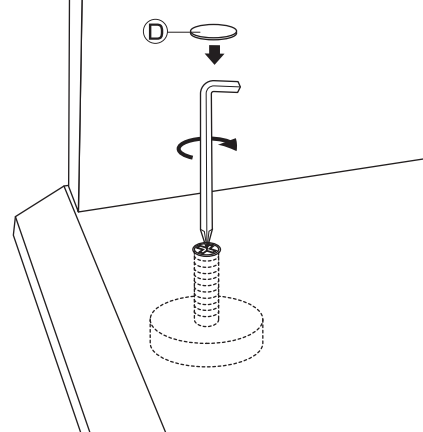
天板裏にある穴について

テレビによっては転倒防止バンド・ベルトを付属している場合があります。本製品には転倒防止バンド・ベルトを固定するための穴が天板裏面3箇所あります。お好みに応じて、テレビの説明書を参考にご使用ください。

- ※転倒防止バンド・ベルトによっては使用できない場合があります。
- ※テレビによっては使用できない場合があります。
- ※後方には倒れます。ケガなどの原因となりますので、固定後は本製品を壁などに近づけて設置し、小さなお子様が入れないようにしてください。
- ※本機能は揺れによるテレビの転倒を最小限に食い止めるのが目的であり、万一お客様やテレビ・家具等に損害が生じた場合、販売元及び輸入元また製造元とも、その補償をお約束するものではありません。



ストッパーの使用法



底板の左右前方にストッパーのプラス穴があります。

ドライバーもしくは付属のレンチを使用して、右に回すとストッパーが下がり、前部キャスターを床から浮かせてTVスタンドを安定させることができます。
(天板にTV等載せたまま作業や移動を行わないでください。転倒の危険があります。)
安定後、穴隠しシール⑩で塞ぐ事ができます。